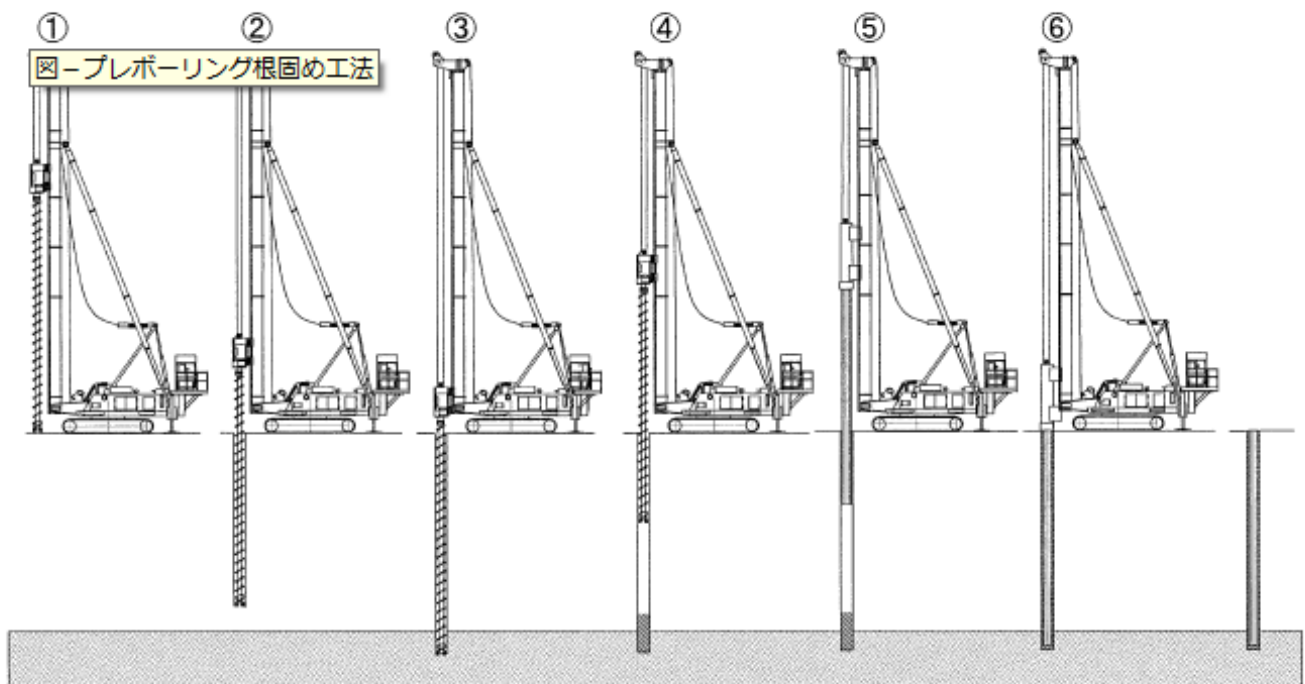


## プレボーリング根固め工法

一般にセメントミルク工法と言われている。掘削液を注入しながら所定深度（支持層）まで掘削した後、根固め液を掘削先端部へ注入する。その後、オーガを引き上げながら杭周固定液を注入し、杭をこの掘削孔に建て込み、圧入または軽打により根固め液中に定着する。根固め液と杭周固定液の硬化によって杭と地盤を一体化させ支持力を発現する。低振動、低騒音で施工できるが、施工者に対する制限がないので、施工の信頼性から支持力算定式における支持力の評価が低くあまり経済的ではない。また、基本的には地盤と掘削液を置換する工法であるので残土の発生が比較的多い。

適用杭径は、300～600mm程度、最大杭長は、35m程度。



- ① 杭心位置にアースオーガを建込み、鉛直度を確認する。
- ② 掘削液を注入しながら地盤を掘削する。
- ③ 所定深度まで掘削後、根固め液を注入する。
- ④ 根固め液を杭周固定液に切り換えてアースオーガを引上げる。
- ⑤ 掘削孔に杭を建込み、杭の鉛直度を確認しながら掘削孔に杭を挿入する。
- ⑥ 圧入または軽打によって杭を支持層に定着する。